

福田学園校友会 理学療法部会 × 大学院部会

運動麻痺に関する最新の知見

2024年8月31日（土）

13：00～17：30（受付開始 12：30）



会場 大阪保健医療大学2号館 講堂

講師 上原 信太郎 先生（藤田医科大学 保健衛生学部 准教授）
生野 公貴 先生（西大和リハビリテーション病院
リハビリテーション科 技師長）

対象者【優先枠】

①福田学園校友会 正会員および準会員

【追加枠（2024年7月～申し込み可能）】

②2022年度～2024年度に大阪保健医療大学、大阪リハビリテーション専門学校からの実習生を受け入れた施設のスタッフ

③2022年～2024年に大阪保健医療大学、大阪リハビリテーション専門学校からの卒業生が就職した施設のスタッフ

定員 150名程度（先着順、状況に応じて変動する可能性あり）

参加費 福田学園校友会会員・準会員：無料 非会員：500円

申込方法

QRコードから福田学園校友会HPにアクセスして下さい。



日本理学療法士協会 登録理学療法士更新4ポイント 申請中

※状況に変更があれば、参加希望者に個別にご連絡致します。

研修会の目的

運動麻痺は最もポピュラーな神経症状であり、運動麻痺の出現はADLやQOLを低下させる原因になります。そのため、運動麻痺は我々セラピストの治療対象となりますが、生活動作の獲得を重要視するあまり、運動麻痺の改善という視点を取り残されている一面もあります。本研修会では運動麻痺の病態や評価、治療法について最新の知見を学び直し、日々の臨床活動を振り返るきっかけになれば良いと考えています。

講演① 運動麻痺の病態・評価・治療

藤田医科大学 保健衛生学部 准教授 上原 信太郎 先生

- ・人間・環境学博士（京都大学）
- ・日本神経理学療法学会 評議員
- ・日本基礎理学療法学会 評議員



運動麻痺は、脳卒中患者の日常・社会生活を妨げる主要因の一つに挙げられる。そのため、運動麻痺について病態生理学、臨床医学的観点からその特性を理解することは、脳卒中患者のリハビリテーションに従事するものとして極めて重要と言える。

本講演では、運動麻痺の発症メカニズムやその回復過程等について、科学的根拠を交えながら概説していこうと思う。本講演が日常の臨床・研究活動を振り返るきっかけになれば幸いである。

講演② 運動麻痺に対する電気刺激療法の臨床応用と課題

西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション科
技師長 生野 公貴 先生

- ・健康科学博士（畿央大学）
- ・畿央大学 客員准教授
- ・日本物理療法研究会 理事長



運動麻痺に対する電気刺激療法は各国のガイドラインでも一部推奨されている介入方法である。しかし、運動麻痺があるからといって単純に適用すれば良いということではなく、患者が示す運動障害の病態を分析した上で、妥当な刺激パラメーターを設定し、併用する運動療法を選択しないと十分な効果は期待できない。

本講演では、電気刺激療法の効果を最大化させるためにも運動麻痺の病態と電気刺激の作用メカニズムの理解を高め、症例提示を交えながら病態別、症状別、重症度別、病期別の電気刺激療法の具体的活用方法について解説し、脳卒中リハビリテーションにおける電気刺激療法の位置づけについて再考したい。

ご不明な点がございましたら、以下の連絡先にご連絡下さい。

- ① 福田学園校友会 事務局 正田 初摘（hazumi.shoda@ohsu.ac.jp）
- ② 福田学園校友会 大学院部会長 津村 宜秀（yoshihide.tsumura@ohsu.ac.jp）